

養命酒製造株式会社

第92期 中間株主通信

目次

株主の皆様へ	1
生活者の豊かな健康生活への さらなる貢献を目指して	
トピックス	5
財務ハイライト	6
財務諸表	7
会社概要	9
株式情報	10
特集	11
駒ヶ根工場の歴史と環境	



Yomeishu

証券コード：2540



Yomeishu

経営理念

生活者の信頼に応え、
豊かな健康生活に
貢献する

経営目標(基本方針)

少子高齢化社会に即した
成長戦略の実現により
企業価値を高める

株主の皆様へ

生活者の豊かな健康生活への
さらなる貢献を目指して



代表取締役社長

塩澤 太朗

株主の皆様におかれましては、ますます
ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜わり誠にありが
とうございます。

上半期の取組み、業績について

当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」ことを経営理念とし、「少子高齢化社会に即した成長戦略の実現により企業価値を高める」ことを基本方針に、

① 「新たな成長事業の推進」の具現化に向けた各施策

② 「養命酒」事業の収益構造の維持

に取り組んでまいりました。

国内の「養命酒」事業につきましては、様々な媒体を効率的に活用し、「疲れ」や「胃腸虚弱」の改善に対する提案を行い、広告と連動した店頭における販売促進活動を引き続き展開いたしました。また、より効率的かつ効果的なマーケティング活動の展開に向け、各施策の費用対効果等の再検証を行うとともに、今後の広告活動を見直しました。これらのマーケティング活動の継続的展開により、東洋医学における「未病」という概念への理解は浸透し、改正薬事法施行後の市況も回復の兆しを見せ始めましたが、「養命酒」の国内売上高は5,739百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

海外の「養命酒」事業につきましては、各国の市場環境に即したマーケティング活動を展開するとともに、「養命酒」の理解と知名度の向上に向け、取扱店舗の拡大や店頭における販売促進活動の強化に努めたものの、「養命酒」の売上高は200百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

「養命酒」の売上に不動産賃貸収入及びその他の売上を合算した売上高は6,094百万円（前年同期比8.8%減）となりました。また、利益面につきましては、広告宣伝費等の経費節減に努め、営業利益は1,119百万円（前年同期比5.4%減）、経常利益は1,260百万円（前年同期比5.2%減）、四半期純利益は752百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

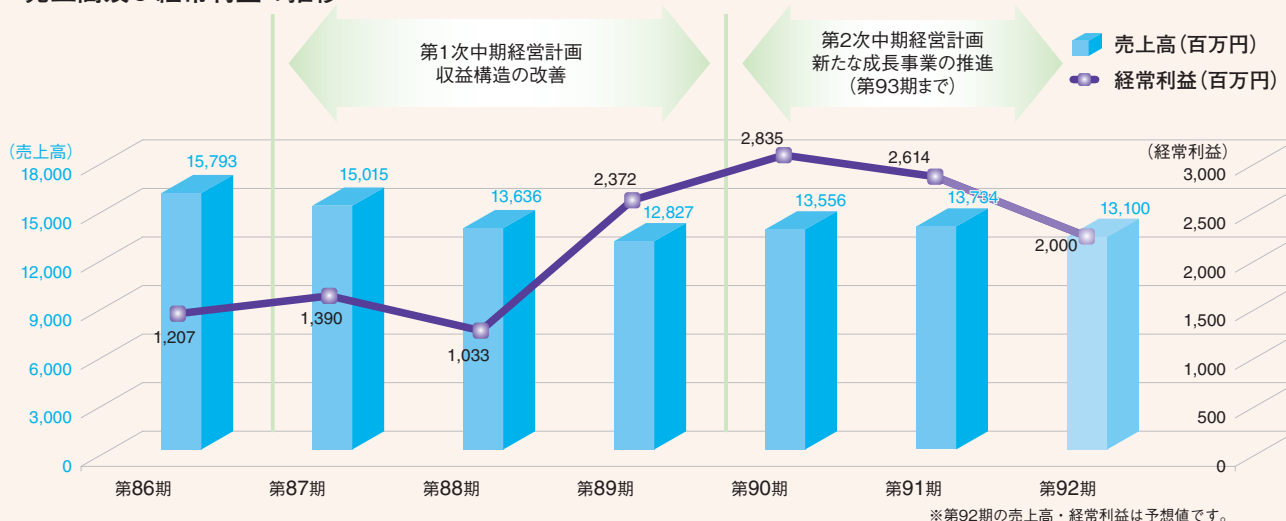
第2次中期経営計画について

第1次中期経営計画（平成16年4月～平成19年3月）では、「養命酒」事業のコストダウンの徹底による高収益化を柱として収益構造の改善を行い、新たな成長事業を推進していくための基盤を構築いたしました。また、この間にこの中期経営計画を一層推進するために平成17年7月に大正製薬株式会社との業務・資本提携を行いました。第2次中期経営計画（平成19年4月～平成23年3月）では、第1次中期経営計画で築いた収益構造の基盤をもとに、経営理念を「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」とし、

- ① 新たな成長事業の推進
- ② 「養命酒」事業の再構築
- ③ 大正製薬株式会社との連携強化
- ④ 財務体質の改善と向上
- ⑤ 意識構造の変革と活力ある人材の育成
- ⑥ CSR（企業の社会的責任）の実践

の6つの経営戦略を策定いたしました。これらを強い意志をもって推し進めていくことによって生活者の皆様の豊かな健康生活に貢献してまいります。

売上高及び経常利益の推移



第2次中期経営計画の進捗状況

平成22年4月の開業を目指して5月に長野県諏訪市における健康生活提案型複合施設の建設に着工するとともに、開業に向けた準備を進めております。また、大正製薬株式会社とは、平成17年の業務・資本提携から提携効果の具現化を目指して新商品の共同開発や、生薬の特性を活かした市場開拓などに積極的に取り組んでまいりましたが、この度、新たな成長事業の推進の施策の一つとして、9月に共同開発によるドリンク剤「リオン」の一部地域（福岡県、山口県、佐賀県）における先行販売を開始いたしました。このドリンク剤「リオン」により「薬用 養命酒」へのニーズを補完することで、セルフメディケーション市場の裾野拡大への対応を目指してまいります。そして、酒系市場においては消費者ニーズの多様化に対応した新規市場の開拓と新たなブランドの育成を目指し、薬味酒「養命酒」を全面リニューアルし、「ハーブの恵み」を平成22年3月8日に発売することといたしました。独自のハーブリキュールカテゴリーの開拓を目指してまいります。

なお、「養命酒」事業につきましては、引き続き様々なメディアを活用し、効率的かつ効果的なマーケティング活動に取り組んでおります。第92期（平成21年4月～平成22年3月）におきましては、第2次中期経営計画の達成に向けて、これらの「新たな成長事業の推進」の各施策の具現化のために経営資源を効果的に活用してまいります。

生活者の豊かな健康生活に貢献

生活者の皆様との接点の場としてこれまでも駒ヶ根工場の「養命酒健康の森」やインターネット通信販売サイト「養命酒本舗」に取り組んでまいりましたが、長野県諏訪市における健康生活提案型複合施設を開設することで、生活者の皆様との接点の場をさらに充実させ、これらの場で、おもてなしの心や癒しを提供してまいります。

また、「薬用 養命酒」を中心として、薬系市場における「幸健生彩」、ドリンク剤「リオン」、酒系市場における薬味酒「養命酒」の全面リニューアルによる「ハーブの恵み」などの商品を提供してまいります。

今後も、これらのサービスや商品の提供を通じて、生活者の皆様の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献することを目指してまいります。

株主の皆様へメッセージ

サービスや商品の提供を通じて社会に貢献し、株主の皆様をはじめ、生活者の皆様のご期待にお応えできるよう、第2次中期経営計画の具現化に向けて積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

ミニドリンク剤「リオン」を先行販売

平成21年9月1日、福岡県、山口県、佐賀県において、ドリンク剤「リオン」の先行販売を開始しました。

「リオン」は、当社の生薬に関する知見と大正製薬株式会社のドリンク剤開発力を合わせることで生まれた共同開発による新商品（指定医薬部外品）であり、以下の特長があります。

1. 「薬用 養命酒」のユーザーの声から生まれた新処方のドリンク剤。
2. カフェインを配合していないので、カフェインが気になる方もお休み前や風邪の時にも服用できます。
3. 東洋医学の発想から学んだ植物性生薬6種とタウリン、ビタミン類を含む有効成分11種配合の処方構成。

辛味や苦さといった生薬特有の味を抑えた柑橘系風味で服用しやすくしております。体力に自信がない方や体調を崩した時の栄養補給に効果的です。



リオン：希望小売価格（税込）50ml：399円

諏訪湖畔での健康生活提案型複合施設

平成22年4月の開業を目指し、現在、長野県諏訪市の諏訪湖畔において、健康生活提案型複合施設の建設を進めています。この新たな事業は、当社保有地の有効活用を考え、飲食や物販事業を通して生活者の皆様に安全で健康的な食やサービスの提供を目指した健康生活提案型複合施設を開設するものです。

地元製品の提供や情報発信を促進し、諏訪地域の観光活性化に貢献していきたいと考えております。



健康生活提案型複合施設（外観イメージ）

「ハーブの恵み」(薬味酒「養命酒」全面リニューアル)

酒系市場における薬味酒「養命酒」を全面リニューアルし、原料となるハーブやパッケージの見直しを行うとともに、商品名も新たに「ハーブの恵み」を平成22年3月に新発売いたします。

東洋の健康思想と当社の技術をベースに、心と体の癒しに配慮した13種のハーブを組み合わせた「ハーブの恵み」。くつろぎの時間や様々なシーンで生活者の皆様にお楽しみいただけるよう、お酒としての美味しさにもこだわった新しいタイプのリキュールです。

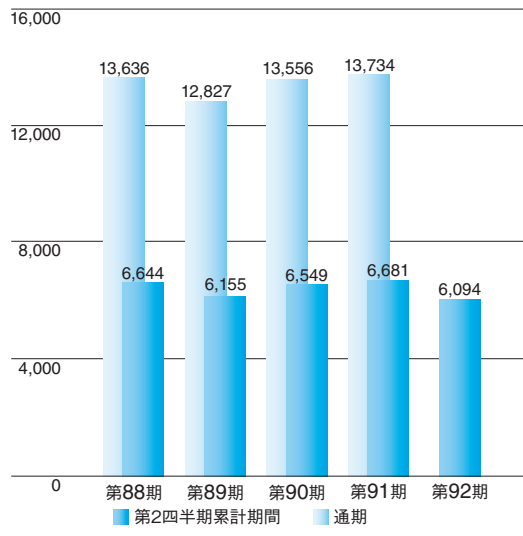


ハーブの恵み：希望小売価格（税込）
1000ml：1,775円、700ml：1,281円、200ml：378円

財務ハイライト

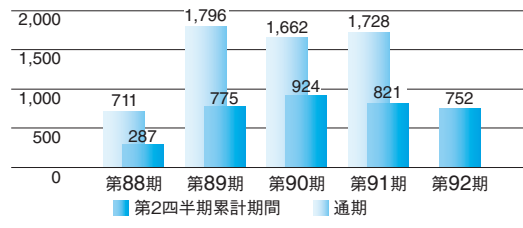
(単位:百万円)

売上高



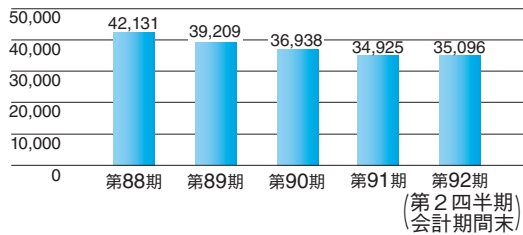
(単位:百万円)

四半期(当期)純利益



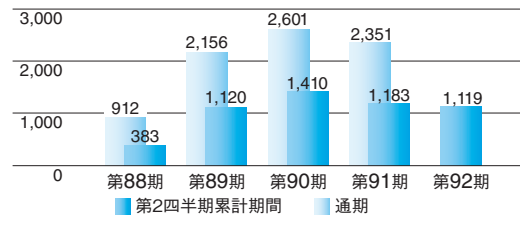
(単位:百万円)

総資産



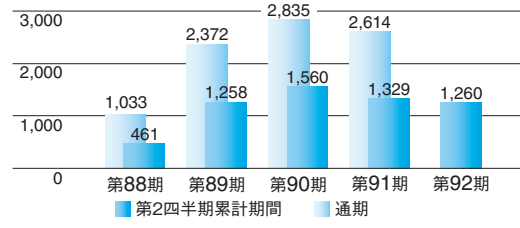
(単位:百万円)

営業利益



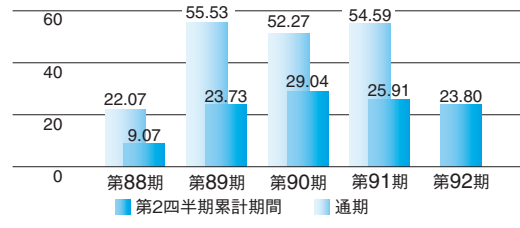
(単位:百万円)

経常利益



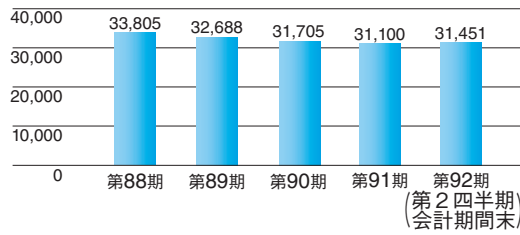
(単位:円)

1株当たり四半期(当期)純利益



(単位:百万円)

純資産



財務諸表

ポイント

【総資産】 前期末に比べて171百万円増加し、35,096百万円となりました。

【流動資産】 前期末に比べて357百万円減少し、11,541百万円となりました。これは主に譲渡性預金償還等により500百万円減少したことによるものです。

【固定資産】 前期末に比べて528百万円増加し、23,554百万円となりました。これは主に投資有価証券が1年内償還予定となる国債の流動資産への振替等により704百万円減少した一方で、設備投資等により有形固定資産が357百万円、投資その他の資産に含まれる長期預金が1,000百万円それぞれ増加したことによるものです。

【流動負債】 前期末に比べて325百万円減少し、2,266百万円となりました。これは主に未払法人税等が70百万円、未払費用が126百万円それぞれ減少したことによるものです。

【固定負債】 前期末に比べて145百万円増加し、1,378百万円となりました。これは主に繰延税金負債が83百万円増加したことによるものです。

【純資産】 前期末に比べて351百万円増加し、31,451百万円となりました。これは主に利益剰余金が183百万円、その他有価証券評価差額金が169百万円それぞれ増加したことによるものです。

四半期貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)	当第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)
資 産 の 部		
流 動 資 産	11,899	11,541
固 定 資 産	23,025	23,554
有 形 固 定 資 産	7,160	7,518
無 形 固 定 資 産	204	169
投 資 そ の 他 の 資 産	15,660	15,867
資 産 合 計	34,925	35,096
負 債 の 部		
流 動 負 債	2,591	2,266
固 定 負 債	1,233	1,378
負 債 合 計	3,824	3,644
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	30,681	30,863
資 本 金	1,650	1,650
資 本 剰 余 金	676	676
利 益 剰 余 金	29,945	30,128
自 己 株 式	△1,589	△1,591
評 価 ・ 換 算 差 額 等	418	587
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	418	587
純 資 産 合 計	31,100	31,451
負 債 純 資 産 合 計	34,925	35,096

四半期損益計算書（要旨）

（単位:百万円）

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	6,681	6,094
売上原価	2,081	1,927
売上総利益	4,599	4,166
販売費及び一般管理費	3,416	3,047
営業利益	1,183	1,119
営業外収益	161	154
営業外費用	15	13
経常利益	1,329	1,260
特別利益	0	—
特別損失	16	26
税引前四半期純利益	1,312	1,233
法人税、住民税及び事業税	457	498
法人税等調整額	33	△16
四半期純利益	821	752

【売上高】6月1日の改正薬事法施行前の対応準備のための店頭販売活動への影響等による主力商品「養命酒」の売上高の減少により、6,094百万円と前年同期比8.8%の減少となりました。

【利益】営業利益は広告宣伝費等の経費節減に努め、1,119百万円と前年同期比5.4%の減少、経常利益は1,260百万円と前年同期比5.2%の減少、四半期純利益は752百万円と前年同期比8.4%の減少となりました。

四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位:百万円）

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	767	709
投資活動による キャッシュ・フロー	△631	△1,271
財務活動による キャッシュ・フロー	△574	△557
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△438	△1,119
現金及び現金同等物の 期首残高	5,155	5,459
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,717	4,340

【営業活動によるキャッシュ・フロー】営業活動の結果増加した資金は、709百万円（前年同期比7.6%減）となりました。これは主に税引前四半期純利益1,233百万円、減価償却費366百万円、未払費用の減少額119百万円及び法人税等の支払額568百万円等によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】投資活動の結果減少した資金は、1,271百万円（前年同期比101.3%増）となりました。これは主に定期預金の預入による支出（預入と払戻の純額）600百万円、有形固定資産の取得による支出646百万円等によるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】財務活動の結果減少した資金は、557百万円（前年同期比2.8%減）となりました。これは主に配当金の支払額556百万円等によるものです。

会社概要 (平成21年9月30日現在)

社 名 養命酒製造株式会社
 YOMEISHU SEIZO CO.,LTD.
 本店所在地 〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号
 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340
 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 事業所 大阪支店、福岡支店、駒ヶ根工場、中央研究所
 設立 大正12年（1923年）6月20日
 資本金 16億5,000万円
 上場 東証市場第1部、名証市場第1部
 事業内容 ・「養命酒」の製造販売
 ・酒類、医薬品等の製造、販売
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 従業員数 255名



東京本店

役員

代表取締役社長	塩	澤	太	朗	常勤	監査	役	松	田	伴	明
代表取締役副社長執行役員	川	村	昌	平	常勤	監査	役	矢	部	與	四男
常務取締役執行役員	竹	村	彰	司	監査	役	笠	原			孟
常務取締役執行役員	小	島	義	久	監査	役	井	出	正		一
常務取締役執行役員	松	澤	勝	彦							
取締役執行役員	田	中	英	雄	執行	役員	宮	下	久	宜	
取締役執行役員	唐	澤	久	雄	執行	役員	鹿	養	貞	人	
取締役執行役員	北	園	芳	種	執行	役員	神	林		敬	
取締役執行役員	吉	松	敬	雄	執行	役員	大	森		勉	
取締役執行役員	大	野		靖							

株式情報

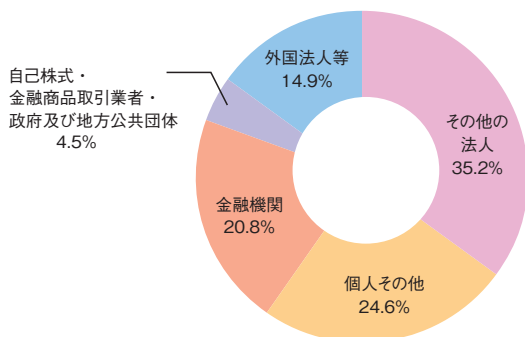
■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	日本経済新聞

■ 株式の状況 (平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,349名

■ 所有者別株式分布状況 (平成21年9月30日現在)



■ 株式に関するお手続きについて

■ 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等 (*1) にお問い合わせください。	

(*1) 株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

■ 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定 (*2)	特別口座の口座管理機関	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (*3) 電話 0120-232-711 (通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 電話 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*2) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方法はお選びいただけません。

(*3) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

駒ヶ根工場の歴史と環境

中央アルプスの山麓にある駒ヶ根工場

～主力商品「養命酒」を生産する駒ヶ根工場をご案内します～

～駒ヶ根工場Data～

【所在地】長野県駒ヶ根市赤穂16410	【竣工】昭和47年10月
【海拔】800m	【敷地面積】約36万㎡（そのうち70%は自然林）
【従業員数】102名（平成21年9月30日現在）	【年間ご来場者数】92,089人（平成20年度）

駒ヶ根工場は、3000m級の山々がそびえる中央アルプスにあって、名峰と知られる「空木岳（うつぎだけ）」の麓、海拔800mの高原に立地しています。敷地の広さは約36万㎡、その70%は自然の森林に覆われています。この地は、原生林に囲まれ太古から眠れる花崗岩によって磨かれる水を豊富に混えています。

「養命酒」にとって、きれいで豊富な水、澄みきった空気は欠かせません。この自然環境こそが生産の好適地であり、昭和47年10月長野県駒ヶ根市に工場を竣工し、今日までこの豊かな自然の恵みに支えられ生産を続けています。

また、この豊かな自然環境の保護にも取り組んでいます。

工場緑化の功績で通商産業大臣賞（昭和63年）と総理大臣賞（平成2年）、また、「エネルギー管理優良工場」として中部経済産業局長表彰（平成16年）を受賞しています。

一方で、この自然をより多くの人と分かち合うことも、経営理念「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」の実現に大切なことと認識しています。工場の敷地に自然散策路やカフェを設け、生活者の皆様に癒しの「養命酒健康の森」としてご来場いただけるよう日頃から整備しています。

交通アクセスについて

列車をご利用の場合

東京から

- 中央本線（特急あずさ）
岡谷駅でJR飯田線に
乗換
駒ヶ根駅で下車。

名古屋から

- 中央本線（特急）
塩尻駅で岡谷方面行
きに乗換
さらに岡谷駅でJR飯
田線駒ヶ根方面行き
に乗換
駒ヶ根駅で下車。

駒ヶ根駅からタクシーで
約15分。

お車をご利用の場合

中央自動車道

- 駒ヶ根インターチェンジから車で約10分。
（案内看板があります）



ご見学のお申し込み・お問合わせ
TEL 0265-82-3310
FAX 0265-82-6414



環境に配慮し、再生紙と大豆インキを使用しています。

養命酒製造株式会社

東京都渋谷区南平台町16番25号

TEL : 03-3462-8111 FAX : 03-3462-8340